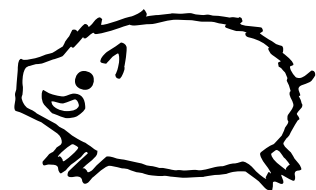


ふれあい通信 発送作業

サロンのような雰囲気です。おしゃべりをしながら、ふれあい通信の発送を手伝ってくださいませんか。申込みは不要ですので、お気軽にお越しください。

作業日：3月18日（月）午後1時30分～3時
場所：此花ふれあいセンター
3階 ボランティアルーム



此花区ボランティア・市民活動センター

ふれあい通信



災害ボランティアセンターについて学ぼう!

災害時、地域の力になりたい、近所の人を助けてあげたいと思ってもどうすればいいのかわからないことはありませんか。そんな時、災害ボランティアセンターのことを知っていると、きっと役に立ちます。昨年の災害ではご近所のつながりの大切さを大勢の方が感じました。この講座を通して、災害ボランティアセンターのことを学び、大災害に備えませんか。

日時:3月9日(土) 午前10時～正午

内容：(講座) 岡山市東区の豪雨災害から学ぶ
(実技) 此花区災害ボランティアセンター立上げ
シュミレーション

場所：此花ふれあいセンター 3階 会議室
対象：此花区にお住まいの方、通勤、通学している方など
定員：25名
申込：3月7日(木)まで

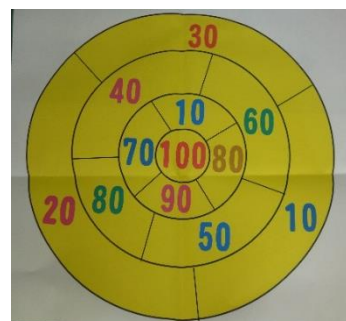


レク部（紙あそびの会）

レク部は「介護付き有料老人ホーム ラ・ナシカ」でボランティア活動を行いました。遊びの内容はシューティングダーツです。トイレットペーパーの芯をダーツのように投げて、床に置いた的に当て点数を競います。トイレットペーパーの芯を千代紙などで飾り、自分だけのダーツを作ります。点数を競うので皆さん真剣です。施設スタッフからも「日頃笑顔の少ない施設の方々もたくさん笑っていました。また来てください。」と言っていただきました。レク部のみんなも楽しかったと、全員が楽しめた1日でした。



ダーツ



的

練習日：2月28日（木）午後2時～4時
3月13日（水）午前10時～正午
場所：ふれあいセンター3階 ボランティアルーム

【申込み/問合せ先】

此花区社会福祉協議会 区ボランティア・市民活動センター（担当：安田）
〒554-0002 大阪市此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター
電話：06-6462-1224 FAX：06-6462-1984
E-mail：kono-v@konohanaku.or.jp <http://www.konohana-kushakyo.or.jp/>

保育ボランティア 募集中

日時：4月21日（日）午前10時～午後3時
（時間は相談に応じます）

内容：保護者がエルフィン関西の総会を
している間の子もたちの保育
（ウイリアム症候群の子もと
その兄弟姉妹）

場所：アミティ舞洲（北港白津2-1-46）
3階 研修室

募集：20名

※昼食、交通費支給あり

て お ご
い 待 連
ま す ち 絡
す し を

ボランティア
募集中



2月号ふれあい通信に掲載の「あゆみの会 記念旅行 介助ボランティア」を
引き続き募集しています。

日時：5月10日（金）午前8時30分～午後5時30分

場所：ユニバーサルスタジオジャパン

※入場料、交通費はあゆみの会で負担。昼食は各自負担

あゆみの会
大分県で心身にハン
ディを負う人たちを
支えている団体
です。

もちよしかふえ

開催日時

3月14日（木）

午後1時30分～3時

場所：ふれあいセンター

3階 会議室

飲み物、おやつは各自でご用意
ください。お湯はあります。

3月のお楽しみ

ボランティア

グループ 和の響に

よる和楽器の演奏



★「セタクラブ」で ★活動しませんか

★ぶるうむ此花で2ヶ月に1度
★施設利用者と手作りを楽しん
★でいる「セタクラブ」です。

★ 次回の活動日：
★ 2月27日（水）
★ 午後1時30分～3時

★ 次回の定例会
★ 3月14日（木）
★ 午後3時～4時



ふれあい学習会(報告) 2/8

「今よりもっとボランティア活動を楽しむために」
～グループで活動する醍醐味を味わおう！！～

参加 ボランティアグループ：13グループ 16名
百歳体操世話人： 13名 合計 29名
講師 金田喜弘氏（佛教大学 福祉教育開発センター 講師）

講義

- みんなで話し合い、自分たちの活動のふりかえりや目標を確認する機会を作ることがグループを長く楽しく続ける秘訣です。
- グループ活動のいいところはお互い様で支え合え、一人で抱え込まずに役割分担ができる。
- グループでは一人ではできないことができ、大きな力になる。
- 自分のためであり、参加者のためであり、地域のためになる。



グループワークでは皆さん共通する意見が出ました。

グループならではのいいところ

- ・大勢で活動していると（演奏を）間違っても助けてくれる。（演奏パフォーマンス）スボランティア
- ・活動を休んだときにお互い気遣える。
- ・みんなで考えを出し合えるし、楽しさやしんどさも共有できる。
- ・活動以外のことも相談できる仲間ができた。

悩み

- ・活動者が少ない。その中でも特に男性の参加が少ない。
- ・マンネリ化
- ・いろんな考え方があり、行動するまでに（話し合う）時間がかかる。
- ・メンバーが高齢化し、役員や世話役、（演奏の）先生の負担が大きい。

工夫しているところ、アイデア

- ・他のグループに来てもらい、違うことをしてマンネリを防いでいる。
- ・参加カードを作り、ポイント制にして楽しんでいる。
- ・よく話し合う（振返りの時間を持つ）。議事録を作り情報共有する。

アンケート結果より

- ・学習会に参加し、他のグループのことを知ることができた。
- ・グループ活動のよさを再認識できた。
- ・先生のお話しがとてもわかりやすかった。